

# 麻酔科

岡田俊樹

平成 24 年度も麻酔科医の人員確保を維持することができ、拡大した手術枠を維持継続し、予定手術のみならず緊急手術についても各科の要望に十分こたえることができた。麻酔科管理手術症例数は前年比で 2%程度減少したが、日勤帯での予定手術施行率が増加し時間外延長症例が減少した。麻酔科術前外来も順調な運営を重ね、低リスク症例においては術前入院日数の短縮が、高リスク症例に対しては早い時期からの綿密な術前評価が可能となった。

また、日常臨床（安全快適な麻酔管理）と若手医師への教育に継続して力を注いできた成果として、平成 25 年度も麻酔科医の数を維持することができ、従来の手術枠および麻酔科外来とも継続予定である。

研究面では、日々の業務で遭遇した問題点を解析・検討することにより、以下の臨床研究を遂行あるいは計画中である。

1. NHO ネットワークグループ（外科・麻酔）としての研究

当院外科を中心として本年度は術後譫妄調査を行っている。

2. 術後疼痛管理法の確立

3. 術前経口補液食の安全性の検討

4. HIV 陽性手術患者の周術期管理

5. 重症患者・大手術の周術期管理

①低心機能患者

②食道癌・膵頭十二指腸切除術患者などにおける皮下組織間質液糖濃度モニタ

## 【2012 年度研究発表業績】

### A-3

西野実穂、佐藤千明、島川宜子、須原均、高橋俊樹、岡田俊樹：胸腹部大動脈瘤手術中に小脳出血とくも膜下出血を合併した 1 例「臨床麻酔」36(4)：p.602-606、2012 年 4 月

佐藤千明、渋谷博美、西野実穂、前田晃彦、島川宜子、岡田俊樹：術前経口補液摂取に伴う全身麻酔導入時の安全性についての検討「麻酔」61：p.810-813、2012 年 8 月

谷口友佳子、草野真悠子、門野環奈、伊藤千明、渋谷博美：午後開始予定手術症例における術前輸液の必要性の検討「臨床麻酔」36(8)：p.1165-1169、2012 年 8 月

### B-4

北方秀憲、谷口友佳子、井上由紀子、松田智明、天野栄三、渋谷博美：肝切除術における副腎周囲焼灼操作による異常高血圧の検討。日本麻酔科学会第 59 回学術集会、神戸、2012 年 6 月

津村八江、草野真悠子、寺西理恵、牧野裕美、島川宜子、岡田俊樹：乳腺手術と腹腔鏡下婦人科手術における TIVA 下での PONV に対するデキサメタゾンの有効性の検討。日本麻酔科学会第 59 回学術

集会、神戸、2012年6月

西井梢、福光一夫、相原理恵、寺西理恵、渋谷博美、岡田俊樹：手術室壁面の映画上映。日本小児麻酔学会第18回大会、下野、2012年9月

濱田裕之、天野栄三、渋谷博美、岡田俊樹、辻仲利政：高齢者の周術期管理に関するアンケート調査。第66回国立病院総合医学会、神戸、2012年11月

平尾素宏、藤谷和正、山本和義、中森正二、池田正孝、池永雅一、宮本敦史、浅岡忠史、関本貢嗣、辻仲利政、楠恵里佳、北方秀憲、岡田俊樹：上部消化管手術周術期の持続的経皮的血糖値モニタリングの試み。第85回胃癌学会総会、大阪、2013年2月

#### B-6

津村八重、岡田俊樹、伊藤千明、伊藤賢佑、秋本歩美：低心機能・高度肥満を合併した Becker 型筋ジストロフィ患者の麻酔経験。日本麻酔科学会第58回関西支部学術集会、大阪、2012年9月

谷口友佳子、朴英美、松田智明、岡田俊樹：インスリンノーマの麻酔経験。日本麻酔科学会第58回関西支部学術集会、大阪、2012年9月

草野真悠子、宮崎裕貴子、門野環奈、小林恵子、天野栄三：セファゾリン起因性の遷延性アナフィラキシーショックの一例。日本麻酔科学会第58回関西支部学術集会、大阪、2012年9月

寺西理恵、楠恵里佳、松村実穂、牧野裕美、渋谷博美：食道癌手術施行患者における皮下組織間質液グルコース濃度の術中連続測定。日本麻酔科学会第58回関西支部学術集会、大阪、2012年9月

井上由紀子、島川宜子、春原真理、西井梢、三嶋恭子：慎重な気道確保を要した甲状腺腫瘍摘出術の症例。日本麻酔科学会第58回関西支部学術集会、大阪、2012年9月

#### B-7

北方秀憲：肝切除術における副腎周囲焼灼操作による異常高血圧の検討。第25回近畿麻酔研究会、大阪、2012年8月

#### B-8

渋谷博美：ずっと仕事を続けよう～女性麻酔科医の場合～。Ginkgo の会、大阪、2012年10月